

東芝照明プレジジョン株式会社 福島事業所 サイトレポート情報	
所在地	： 福島県福島市土船字町田 1 番地 1
敷地面積	： 20,634m ² 、建家面積：10,001m ² 、緑化率24.3%
設立	： 1934年4月、従業員：85人（2011年3月現在）
主要製品	： 各種樹脂成形部品
ISO14001 認証取得	： 1999年5月、最新更新年月：2011年5月 （ISO 認証番号：EC99J1009）



ごあいさつ

東芝照明プレジジョン（株）福島事業所は、吾妻連峰の麓に位置しており水と山と緑豊かな自然環境に恵まれた立地条件の中で事業を展開しています。事業所では、各種樹脂成形部品を製造しており、環境保全活動にも従業員一丸となって取り組んでいます。



環境保全責任者 河野 信幸

2010年度の環境の主な取り組み

- ☆ ISO14001 環境マネジメントシステム
1999年5月に認証取得、2010年4月に定期サーベランス実施
- ☆ 環境保全設備の改善と管理の向上
射出成形機を油圧式から電動式に更新（省電力化）、製造設備改造による製品歩留向上
- ☆ 環境保全体制の充実
法令、条例の順守、現場管理の強化。
- ☆ CO₂ 排出量の削減
CO₂ 排出量生産高原単位を2010年度の目標（72.4 t-CO₂/億円）に対して実績（64.3 t-CO₂/億円）
- ☆ 廃棄物ゼロエミッションの継続
廃棄物総発生量原単位を2010年度の目標（4.89 t/億円）に対して実績（4.77 t/億円）
最終処分率 0.19%
- ☆ 全員参加・啓蒙活動の展開
地域の清掃活動、安全環境ニュースによる啓蒙活動

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介



各種樹脂成形部品
（高輝度誘導灯他）



各種樹脂成形部品
（車載用・蛍光灯用）

環境コミュニケーションの紹介

- ・ 地域との交流：事業所周辺の清掃活動、
150万本の森づくりの実施（福島市）



東芝照明プレジジョン㈱ 環境方針

東芝照明プレジジョン（株）は、福島県福島市に福島事業所、新潟県長岡市に新潟事業所、神奈川県川崎市に川崎事務所を置き、事業所及び工場は阿武隈川、信濃川の清流に隣接し、水と山と緑豊かな自然環境に恵まれた場所に立地している。一方、川崎事務所は東京都との境を流れる多摩川の恵みを受けた、「世界的な先端産業都市」で営業活動を行なっている。

「かけがえのない地球」環境を健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、事業を展開する我々の基本責務」との認識に立って、東芝グループの環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ることで持続可能な社会へ貢献します。

1. 環境保全の取組みを会社経営の最重要課題の一つとして位置付け、経済と調和させた環境活動を推進します。
2. 事業活動、製品・サービスに関わる環境側面について、環境影響を評価し、環境汚染の予防に努めます。
3. ISO14001 規格に適合した環境マネジメントシステムを構築し、積極的な環境施策の展開により、環境経営の継続的な改善を図ります。
4. 法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守し、必要により自主基準を制定し、環境活動に取組みます。
5. 当社製品は開発設計の段階より参画し、製品を構成する個々部品の省資源・リサイクル性・省エネルギーなどを考慮し、環境への配慮を部品自体に付加して提供する。
6. 当社が行なう事業活動が環境に与える影響の中で、特に以下の項目について、優先的に環境保全活動を推進する。
 - (1) 地球温暖化防止のために、製造設備の運転管理の徹底、設備改善などにより、電気及び燃料について省エネルギーを推進する。
 - (2) 水質・騒音などに関わる施設の管理の徹底と設備の改善を行ない、環境に与える影響を最小にすると共に、事故の予防に努め、その訓練を行なう。
 - (3) 限りある天然資源を守るために、樹脂・金属などの廃棄物の分別の徹底を図り、産業廃棄物の削減化を推進し、「ゼロエミッション」の継続及び循環型社会に貢献する。
 - (4) 環境に負荷を与える化学物質は、徹底した管理を行なうと共に、代替への転換、削減、回収、などを行なう。
7. 取引先への環境保全の要請を行うと共に、地域会社への配慮を通して、取引先や地域社会との協調・連帯を図る。
8. 従業員の環境意識をより高め、全員で取り組みます。またグローバル企業として積極的な情報開示とコミュニケーションを行い、東芝グループと一体となった環境活動を推進します。

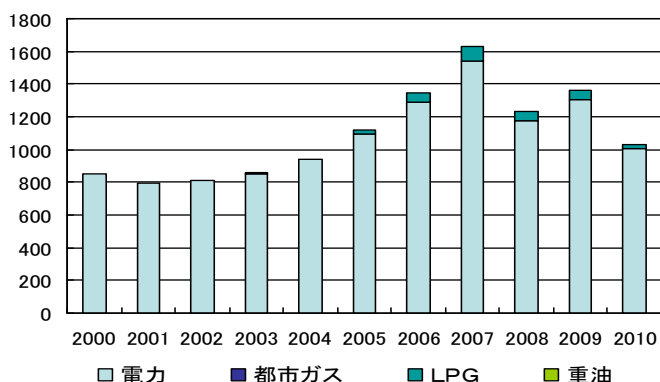
2010年 10月1日

東芝照明プレジジョン株式会社

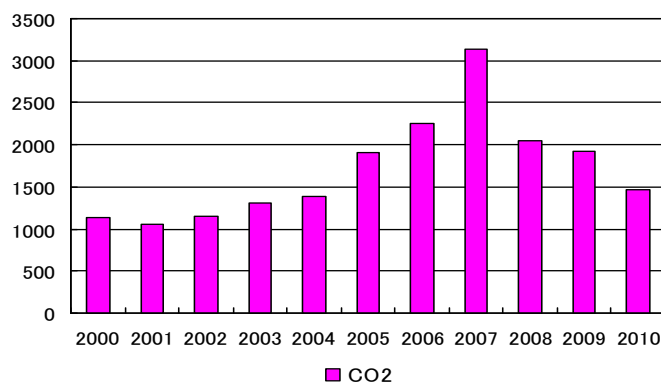
段野 雄徳

環境負荷データ

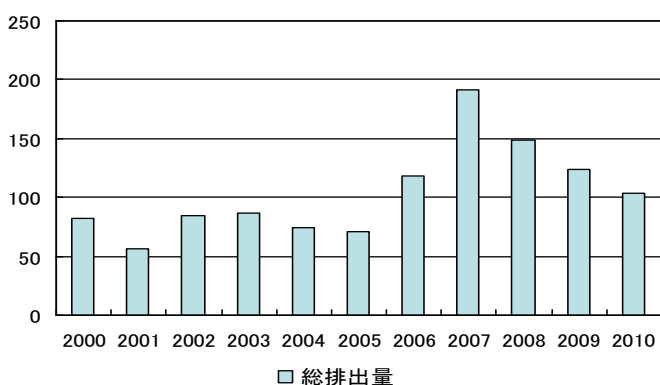
エネルギー使用量(単位:KL)



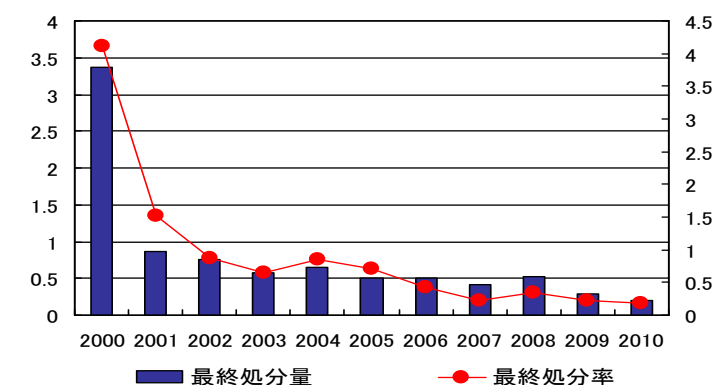
CO₂排出量(単位:トン-CO₂)



廃棄物総発生量(単位:トン)

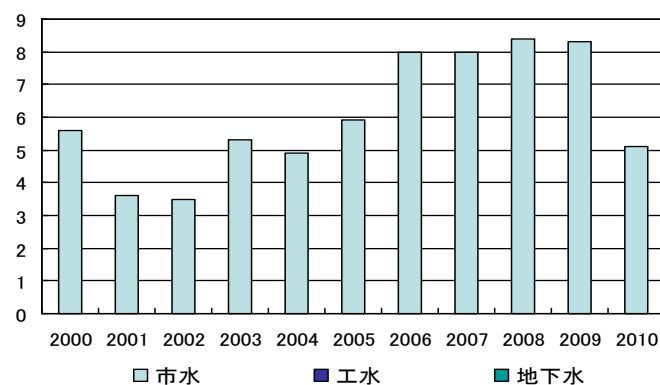


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:トン、%)

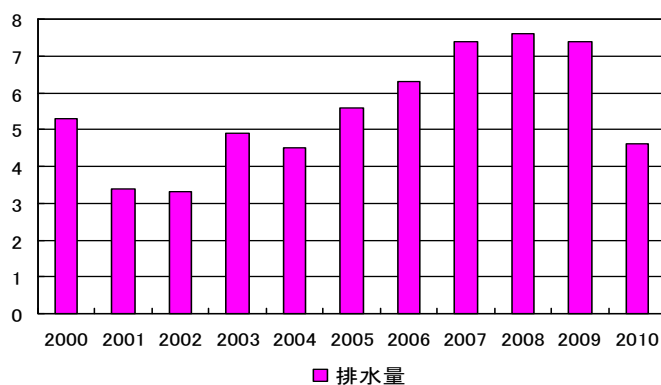


主な廃物名:プラスチック、金属、油等

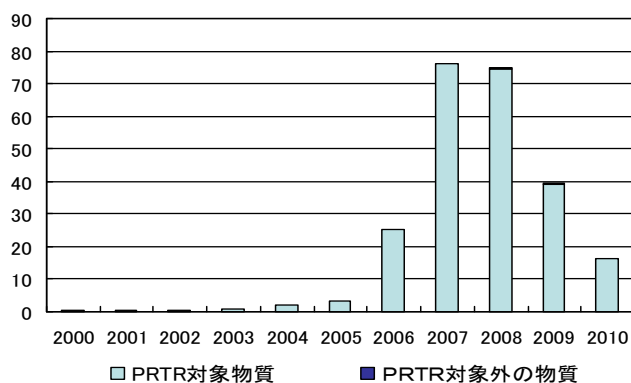
水の使用量(単位:千m³)



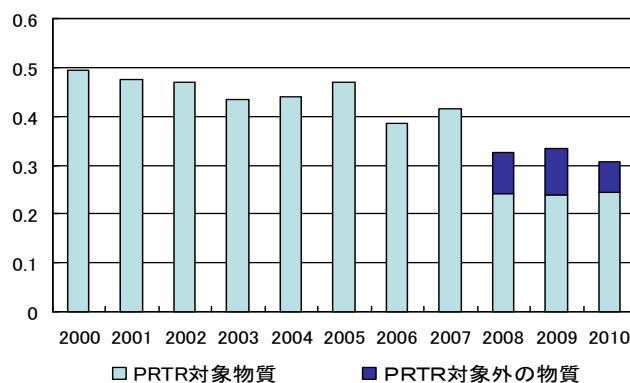
排水量(単位:千m³)



化学物質削減対象物質の取扱量(トン)



化学物質削減対象物質の排出量(トン)



主な化学物質:ニッケル、トルエン、シクロヘキサノン

遵法管理状況

<大気測定結果> 対象施設なし

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	対象外	対象外	対象外	対象外
SOx(Nm3/h)	対象外	対象外	対象外	対象外
ばいじん(mg/Nm3)	対象外	対象外	対象外	対象外

<排水測定結果> 浄化槽、河川(須川~阿武隈川)へ放流

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.8~8.6	6.0~8.0	6.8	年2回
BOD(mg/ℓ)	40	35	6.3	年2回
COD(mg/ℓ)	40	27	18	年2回
SS(mg/ℓ)	70	36	8.8	年2回
窒素(mg/ℓ)	120	40	18	年2回
磷(mg/ℓ)	16	4	0	年2回

<騒音・振動測定結果> 特定施設 騒音・振動:29台(射出成形機、コンプレッサー)

	測定場所:時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	75以下	70以下	56	年1回
	敷地境界:夜	70以下	65以下	49	年1回
振動(dB)	敷地境界:昼	65以下	60以下	35	必要に応じて
	敷地境界:夜	60以下	55以下	35	必要に応じて

<その他測定結果> (該当なし)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	—	—	—	—
BOD(mg/ℓ)	—	—	—	—
SS(mg/ℓ)	—	—	—	—

<環境事故・指導指摘・苦情の有無>

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし